

平成26年4月5日

高知県立大学 兵庫県立大学 千葉大学
東京医科歯科大学 日本赤十字看護大学

国内初の国公立5大学による大学院共同教育課程

「共同災害看護学専攻」開講式（平成26年4月開講）

平成24年度「文部科学省博士課程教育リーディングプログラム」に採択された「災害看護グローバルリーダー養成プログラム」の計画に基づき、看護学大学院教育の牽引的立場にある千葉大学および東京医科歯科大学、我が国の災害看護学の構築と発展に寄与した兵庫県立大学と高知県立大学、災害時の対応について実践を蓄積してきた日本赤十字看護大学の5大学が連携し、5年一貫の博士課程である共同教育課程を開設します。

共同教育課程では、人間の安全保障を共通教育研究上の理念とし、参画する大学院がそれぞれ蓄積してきた資源を共有し、日本や世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応・解決し、学際的・国際的指導力を発揮し、人々の健康社会構築と安全・安心・自立に寄与する世界的リーダーを養成します。

「共同災害看護学 開講式」

日時 平成26年4月5日（土）13:30～14:30

場所 高知県立大学池キャンパス 共用棟大講義室
（高知県高知市池2751-1）

13:30 開式の辞（ことば）

13:31～ 学生紹介

教育連絡協議会委員長 山本あい子

13:34～ 代表大学学長式辞

高知県立大学長 南 裕子

13:40～ 来賓祝辞・来賓紹介

文部科学省、高知県知事、日本看護系大学協議会
博士課程教育リーディングプログラムオフィサー
WHO神戸センター所長

14:05～ 4大学学長あいさつ

兵庫県立大学、千葉大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学

14:25～ 学生代表宣誓

14:30 閉式の辞（ことば）

お問い合わせ 開講式担当者 高知県立大学学生課 竹内 携帯 080-7014-4351

＜研究科、専攻、入学者数＞

各大学研究科に以下専攻を設置し、各大学2、3名ずつ、計11名が入学します。

高知県立大学 大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 2名

兵庫県立大学 大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 2名

東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻 3名

千葉大学 大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 2名

日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 2名

＜学位の名称＞

博士（看護学）（学位記にはDisaster Nursing Global Leader を付記する）

PhD（Nursing）（学位記にはDisaster Nursing Global Leader を付記する）

＜養成する人材＞

1. 人間の安全保障を理念として、いかなる災害状況でも「その人らしく健康に生きる」ことを支援できる人材
2. 災害サイクル諸局面において「健康に生きるための政策提案」に取り組むことができる人材
3. グローバルな視点から、安全安心社会の実現に向けて、産・官・学との連携を築き、制度やシステムを変革できる人材
4. 学際的な視点から災害看護学を構築し、災害看護学を研究開発できる人材

＜教育研究上の目的＞

看護学を基盤として、他の関連諸学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産・官・学を視野に入れた研究を行い、特に災害看護に関してその深奥を極め、人々の健康社会の構築と安全・安心・自立に寄与することを目的とし、求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる、学際的・国際的指導力を発揮するグローバルリーダーとして高度な実践能力を有した災害看護実践者並びに災害看護教育研究者を養成することを目標とします。

＜修了後の進路等＞

大学・研究所等の教育・研究機関だけではなく、災害看護に関わるあらゆる企業・医療施設や行政機関、NPO法人、また国際機関等で災害看護グローバルリーダーとして活躍します。

産：災害拠点病院・社会福祉協議会・NPO法人等における危機管理担当者・災害支援統括担当者、一般企業の防災対策にかかわる専門職および災害に関するシステムや商品の開発・研究職、日本看護協会等の専門職能団体の災害支援統括専門職

官：官公庁・地方自治体において危機管理・災害支援を専門とする部署の看護専門職もしくは研究職

学：災害看護学分野の発展に寄与する教育・研究職

国際的活動：国連、WHO・WHO 健康開発総合研究センターなどの公的機関、あるいは国際赤十字・赤新月社連盟や国際看護師協会等で活躍する災害看護専門職

＜教育課程の概要＞

本教育課程の特色は、5大学がそれぞれの強みを生かしつつ、災害看護グローバルリーダー育成に向けた教育を行う点である。災害看護が対象とする時期は、災害発生時の救命救急の時期は勿論であるが、その後の生活と健康の回復・復興の時期、さらには次の災害に向けた備えの時期と、必要な知識・技術は広範囲にわたっている。災害看護学は新規の領域であり、日本はもとより世界的に見た場合にも、災害看護学の専門家は少ないのが現状である。そこで、5大学に所属する教員が共同で災害看護学に関する教育を行うことで、知識等の範囲を拡大することができ、各専門領域における教員数の偏りや少なさをも補うことができる。

教育内容は、6科目群から構成している。①看護学の基盤に関する科目群では、災害や人の多様性や特殊性の中で、人々の健康に生じる看護現象を見抜く力、並びにそれらの問題や課題解決につながるエビデンスを作っていくための理論や研究方法を修得する。②災害看護グローバルリーダーに必要な学際的な科目群では、人や災害や文化等の多様性理解を促す科目を配当している。③災害看護学に関する科目群では、活動に必要な知識や災害に特化した理論構築を行う科目や倫理等を設定している。④災害看護学演習では、シミュレーション教育により、特化した状況を提示し、その中で実践力や意思決定等が学べ、⑤災害看護学実習においては、医療機関や仮設住宅等の人々の生活の場に加えて、日本国内の行政、さらには国連やWHO等の国際機関等における活動等がインターンシップ等を通して学べるようになっている。活動に当たり、エビデンスに基づき実践することの重要性を鑑み、⑥災害看護学に関する研究支援科目群では、研究能力の育成を視野に科目を配当している。

＜教育方法＞

遠隔地にある5大学を結ぶ本共同教育課程は、テレビ会議システムなどの最新メディア機器を駆使した従来にはない複合的な教育方法を取り入れ、遠隔地にある5大学院すべての学生が、同時性、双方性、参画型の履修を可能とする遠隔授業の実施を可能とし、教育の質を保証する。

＜修了要件＞

標準修業年限の5年以上在籍し、修了要件50単位以上の単位を修得した者で必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを要件とする。

○プログラムに関する問い合わせ先

災害看護グローバルリーダー養成プログラム管理センター（高知県立大学内） 竹内
〒780-8515 高知県高知市池 2751-1
TEL : 088-847-8630 FAX : 088-847-8756
E-mail : dngl@cc.u-kochi.ac.jp HP : <http://www.dngl.jp>

○共同専攻に関する各大学問い合わせ先

高知県立大学 看護学部・看護学研究科

〒780-8515 高知県高知市池 2751-1 TEL : 088-847-8700

兵庫県立大学 看護学部・看護学研究科

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 TEL : 078-925-9404

東京医科歯科大学

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL:03-3813-6111

千葉大学 看護学部・大学院看護学研究科

〒260-8672 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1 TEL : 043-226-2780

日本赤十字看護大学

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 TEL : 03-3409-0875

履修モデル

キャリア
デザイン

ステップ
3

ステップ
2

ステップ
1

